

運行指示書の携帯などを中心に街頭指導を実施します

平成29年1月6日 公益社団法人日本バス協会

公益社団法人日本バス協会では「貸切バスの安全運行」に向けた街頭指導を東京都千代田区「皇居外苑楠公駐車場」において実施します。この街頭指導は、長野県軽井沢町で発生した「スキーツアーバス事故」後に「二度と同じような事故は発生させない」強い決意に基づき、平成28年2月及び3月に実施した後の継続した取り組みです。

目的：貸切バス事業者の法令遵守と安全運行の実態を街頭調査し、不適切な運行が確認できた場合は改善指導を要請することにより、「法令遵守と安全輸送サービスの提供」の促進を図る。

実施日：平成29年1月13日（金） 11時～15時30分

場所：東京都千代田区「皇居外苑 楠公駐車場」

調査員：日本バス協会の腕章をした職員

調査対象：日本バス協会会員・非会員を問わずすべての貸切バス

調査内容：調査項目による聞き取り調査

1. 「貸切」の車外表示の有無
2. 「社名」の車外表示の有無
3. 車内に「登録番号表示」の有無
4. 車内に「運転者氏名表示」の有無
5. 運行指示書携帯の有無
6. 運行指示書に主な行程記載の有無
7. 運行日報携帯の有無（デジタコにて記載の場合は口頭確認）
8. シートベルト着用の車内掲示の有無

配布物：「バス乗車の際はシートベルトを締めましょう」のビラ配布

